

祭りなどで火気を使用するときは消防署にご相談を！

次の催しにおいて露店や屋台などで火気器具を使用するときは、消防署に届け出なければなりません。

屋外で行う催し〔例〕	屋内で行う催し〔例〕
・河川敷で行う花火大会 ・神社で行う祭り ・地域（町内会等）で行う祭り	・デパートで行う物産展 ・体育館で行う展示会 ・ホテルで行う催し

※ 不特定多数の人が集まる催しが対象となります。

広島市火災予防条例により、こんろ（火気器具）から可燃物までの距離（離隔距離）などが定められています。

Point

こんろ（火気器具）の側方は、可燃物から15cm以上離れていること。

Point

こんろ（火気器具）の上方は、可燃物から1m以上離れていること。

Point

こんろ（火気器具）は、不燃性の台上で使用すること。

Point

1能力単位以上の消火器（ABC3型以上）を設置すること。

Point

ガスこんろのボンベは、こんろから2m以上離し、直射日光の当たらない場所に置くこと。また、ボンベが転倒しないように固定すること。

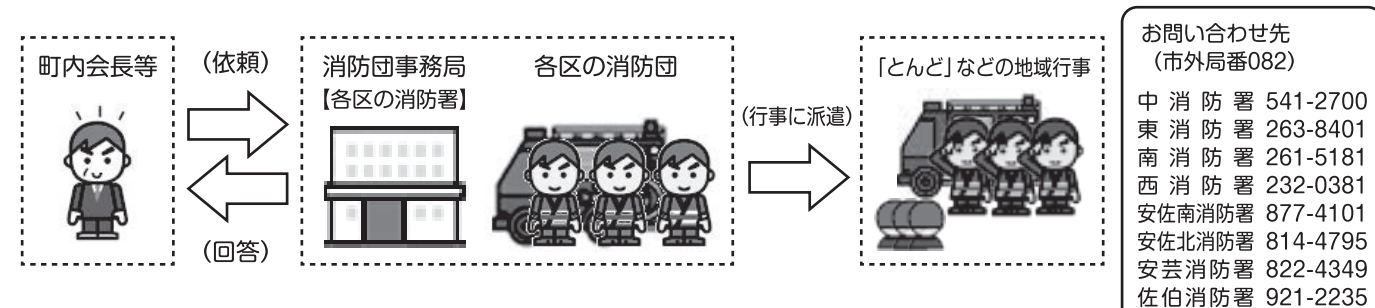
※ 使用する火気器具によって、距離が異なります。

消火器の準備！

焼そば

地域行事で人手や資格が必要なときは、消防団にご相談を！

広島市消防団では、地域行事に消防団員を派遣し、地域活動に協力する制度を始めました。詳しくは、お住まいの区の消防団事務局（各区の消防署）にお問い合わせください。



※ 行事の内容や、他の行事等の都合により、派遣要請をお受けできないことがあります。
※ 消防団員が保有する資格の種類（防災士、介護福祉士等）については、消防団事務局にお問い合わせください。

再生紙を使用しています。
広Y2-2016-78(2)

<No.244>

自助

共助 公助

自主防災ひろしま

編集・発行／広島市危機管理室
TEL (082) 504-2664

台風対策はお済みですか？

台風は1年間で平均3回上陸しています。事前にしっかり準備して、危険から身を守りましょう。

- 台風って? P1
- 台風がもたらす影響 P2
- 台風に備える P3

(消防署からのお知らせ) P4

大型で非常に強い台風が接近しています



<画像掲載元：気象庁ホームページ>

台風って？

台風の大きさ

台風の大きさは、強風域の半径によって決められています。

台風の大きさ	強風域の半径 (平均風速15m/s以上)
大型 (大きい)	500 km以上 800 km未満
超大型 (非常に大きい)	800 km以上

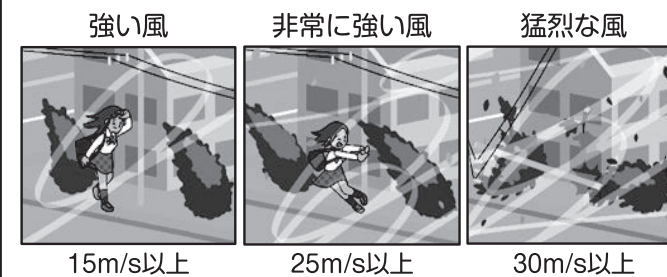
台風の強さ

台風の強さは、その最大風速により決められています。

台風の強さ	最大風速
強い	33m/s以上～44m/s未満
非常に強い	44m/s以上～54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

風の強さ

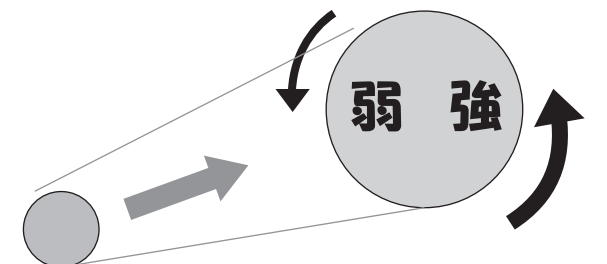
平均風速 15～20m/s の風が吹くと、歩行者が転倒したり、高速道路での運転に支障が出始めます。



<画像掲載元：気象庁ホームページ>

進路による雨・風の影響

台風の東側では、風向きと進行方向が一致することで、より強い雨や風が発生します。

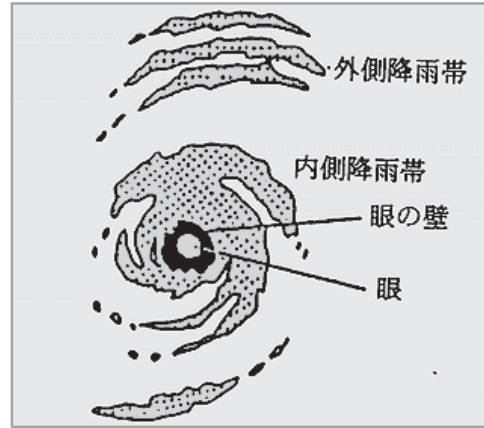


※ 誤植のお詫びと訂正（自主防災ひろしま No.243）
「自主防災ひろしま」No.243号において誤植がありました。深くお詫び申し上げますとともに、訂正します。
訂正箇所：1頁 『重要なお知らせ』の記事に掲載している説明欄の内容
誤 指定避難場所（生活避難場所） ⇒ 正 指定避難所（生活避難場所）

台風がもたらす影響

暴風雨

台風は、強い風とともに、雨を伴います。また、台風が離れていても、帯状の降雨帯の影響により断続的に激しい雨が降ることがあります。



<画像掲載元：気象庁ホームページ>

中区の江波山気象館には、突風（風速5、15、20 m/s）を体験できる装置があります♪



高潮

気圧の低下で起こる「吸い上げ効果」や、強風による「吹き寄せ効果」などにより、海面が上昇する現象です。

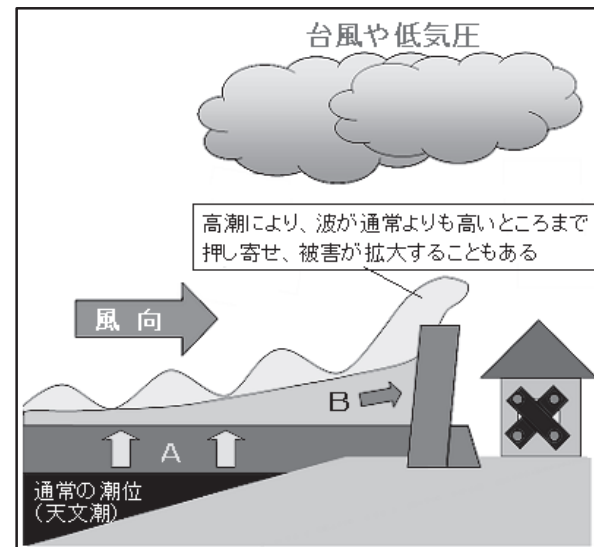
吸い上げ効果（図A）

台風が接近して気圧が下がり、海面が吸い上げられる効果

吹き寄せ効果（図B）

強風により海水が海岸に吹き寄せられる効果

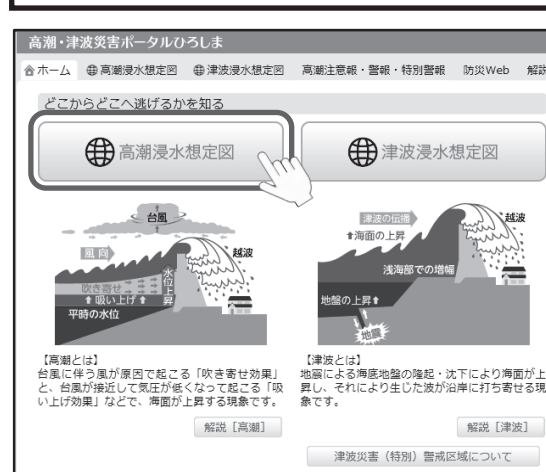
<画像掲載元：気象庁ホームページ>



○ 浸水が想定される区域は？

浸水が想定される区域は、広島県のホームページで確認できます。

高潮・津波災害ポータルひろしま



検索



確認したい
想定を選択



台風に備える

台風は、接近してくるまでの間、ニュースや天気予報などで各地の被害状況が伝えられ、予想進路や勢力、雨の降り方などの情報を得ることができます。

時間的な余裕を持って事前に対策しましょう！

気象情報の定期的な入手

防災情報メールの登録

避難場所の確認

非常持ち出し品の準備



土のう作り



窓の補強



断水対策



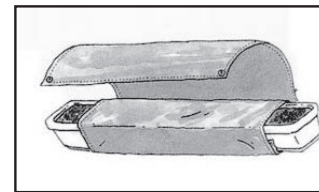
不要な外出は控える



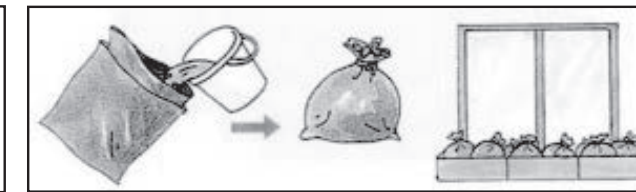
<画像掲載元：気象庁ホームページ>

土のうが自分で手に入らない場合は・・・

プリンターにレジャ
シートを巻きつける



ゴミ袋を重ねて土のう代わりに



最寄りの消防署で借りる



広島市からのお知らせ

～平成28年度広島市防災士養成講座を開催します～

防災に関する正しい知識と技能を持ち、地域の防災リーダーとして活躍できる防災士を養成します！

日時：平成28年12月3日（土）、4日（日） 9：30～18：30（予定）

場所：広島市役所本庁舎2階講堂（中区国泰寺町一丁目6番34号）

対象：① 各学区自主防災会連合会長の推薦を受けた方
② 資格取得後、概ね3年間は地域の防災活動に携わることが可能な方

定員：100名程度

受講料：無料（ただし、受講申込書郵送経費、認証手続きに関する証明写真代などを除く。）

申込方法：所定の申込書を9月23日（金）までに危機管理室災害予防課宛て持参・郵送など

問合せ先：危機管理室災害予防課（082-504-2664）